

専門研修の募集定員について

和歌山県福祉保健部健康局医務課

専門研修募集定員をめぐる動き（第1回協議会からの経緯）

第35回 医師需給分科会（令和2年8月31日開催）

- 地域枠の定義が示され、令和4年度から運用することを決定

第1回 和歌山県医療対策協議会（9月1日開催）

【議題】 専門研修プログラムについて

- 「専門研修制度に関する和歌山県の意見について」の協議を実施
 - ・シーリングの算定方法の見直し
 - ・修学資金の貸与を受けていないが「地域枠」の定義を満たす医師についても、専門研修プログラムの募集定員外での採用を可能とすること 等について国に意見することです承

→ 意見書を厚生労働大臣あて提出（9月3日）

医道審議会医師分科会医師専門研修部会（9月11日開催）

- 都道府県からの意見を集約し、令和3年度専門研修プログラムに対する、厚生労働大臣からの日本専門医機構への意見・要請案について協議

意見及び要請 厚生労働大臣→日本専門医機構（10月5日）

専攻医採用数シーリングの対象外とする専攻医の登録について（10月6日付け通知）

シーリングの対象外となる「地域枠」の範囲

- ① 都道府県からの修学資金の貸与があり、かつ医師少数区域等での従事要件が課されている方
- ② 自治医科大学の卒業生で、医師少数区域等での従事要件が課されている方
- ③ 新たに示された定義に準じた以下の要件をすべて満たす地域枠医師
 - ・別枠方式で選抜
 - ・卒直後より当該都道府県内で9年間以上従事
 - ・志願時に本人、保護者が従事要件に同意・都道府県のキャリア形成プログラムに参加

意見及び要請への回答 日本専門医機構→厚生労働大臣(10月16日)

➤「2021年度採用数について、条件を一部変更した上で、同様の方針で採用」

第2回 和歌山県医療対策協議会（11月6日書面開催）

【議題】 令和2年度専攻医募集における地域枠医師の取扱いについて

○本県における地域枠医師等の取扱いについて協議を実施

・県立医科大学地域医療枠・近畿大学和歌山県地域枠・自治医科大学に加え、県立医科大学県民医療枠の卒業医師についても、シーリング対象診療科への登録を希望する医師は、原則シーリングの枠外で採用することで了承

→対象者リストを厚生労働省あて提出（11月13日）

第2回和歌山県医療対策協議会における意見について

◆議題【令和3年度専攻医募集における地域枠医師の取扱いについて】

県立医科大学地域医療枠・近畿大学和歌山県地域枠・自治医科大学に加え、県立医科大学県民医療枠の卒業医師についても、シーリング対象診療科への登録を希望する医師は、原則シーリングの枠外で採用することとしてはどうか。



賛成13名・反対0名 **全員の賛同をもって議決**

◆書面会議におけるご意見について

- 大都市への専攻医の集中を防ぐための工夫、例えば地方の研修機関の設備環境の充実等のための予算配分を国に求める等
- 他科希望の医師が結果として減ってしまう可能性もあることに対する協議会での討議も必要と考える
- 公的病院に就業している専門医数を数えて、各自治体、地域で充足しているかどうかを判断すべきである

本県が提出した主な意見の反映状況

専門研修プログラムに関する意見（本県意見の反映状況等）

No.	専門研修に関する本県の意見		日本専門医機構の回答	評価
I -1-①	専攻医が著しく多い東京都とその他の地域のシーリングを区別して、それぞれの算定方法を見直し、地域医療に支障を来さないような仕組みとすること	継続	2019年、2020年度の専攻医の採用数を比較するなど検証を行い、2022年度以降のシーリング数の設定を行っていく	△
②	シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、病院勤務医と開業医とを厳密に区別すること	継続	(未回答)	×
③	シーリングの根拠となる診療科別の必要医師数の算定にあたっては、医学の教育・研究を行う大学病院に所属する医師について一定配慮すること	継続	(未回答)	×
④	必要医師数の算定根拠となっている「専門医制度における基本診療領域と疾病等との対応表」を公表するなど、シーリングに係る計算方法の全容を明らかにすること	継続	(未回答)	×
⑤	東京都への専攻医の集中を抑制できていない状態で募集された過去3年間の採用実績を、シーリング数の算定に使用しないこと	継続	過去3年の採用数の平均が5以下の都道府県別診療科については、シーリングを外す	△
I -2-①	令和2年8月31日開催の医師需給分科会で了承された「地域枠」の定義を速やかに適用し、修学資金の貸与を受けていないが地域での勤務が課されている医師について、専門研修プログラムの募集定員外での採用を可能とすること	新規	2021年度採用数については、条件を一部変更した上で、同様の方針で採用する (修学資金の貸与を受けていないが地域枠の定義に該当する医師[県立医科大学県民医療枠]についても、シーリング対象外となった)	○
②	地域での従事要件が課されている医師については、他地域（他の都道府県）の専門研修プログラムに採用されない仕組みを構築すること	継続	都道府県の同意を得ずに地域枠を離脱した専攻医について ・原則、専門医の認定を行わない ・採用プロセス及び研修開始後において都道府県に確認する ・同意を得ていないことが判明した場合、プログラム統括責任者と専攻医に対し、従事要件を満たした研修を行うよう働きかける	○
I -3	専門研修制度の変更等にあたっては、地方から提出された意見については最大限配慮するとともに、その反映状況について報告すること	継続	各制度の見直しに際して、地域医療に影響を与える恐れのあるものについては、時間を設けて地域の意見に配慮する	△
Ⅲ-1	新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、専門研修プログラム募集定員のシーリングは中断するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応で顕在化した課題を踏まえ、専門研修制度について必要な見直しを行うこと	新規	(未回答)	×

令和3年度募集におけるシーリング対象診療科の登録状況

◆令和3年度専攻医募集におけるシーリング対象の診療科と定員について

基本領域名	R3 募集定員	募集定員上限 令和2年3月27日 日本専門医機構理事会決定	募集定員上限 令和2年10月16日 日本専門医機構理事会決定
内科	45	20 + 3(連携)	20 + 3 + 地域枠医師
整形外科	11	9	9 + 地域枠医師
耳鼻咽喉科	9	8	対象外
放射線科	15	6	対象外
リハビリテーション科	6	6	対象外

内科・整形外科の
2科が対象

◆シーリング対象診療科における専攻医登録状況（令和2年11月16日時点）

基本領域名	募集定員上限 (シーリング数)	合計	シーリング						(参考)採用数		
			枠内	枠外	自治	地域	県民	近大	R2	R1	H30
内科	20 + 3(連携)	34	20	14	1	4	7	2	26〔5〕	24	23
整形外科	9	4	4	0	0	0	0	0	9〔1〕	3	9

※令和2年度採用数のうち、〔〕内はシーリング対象外で採用となった地域枠医師の数

- 一次募集の採用結果通知は11月30日（月）正午
- 今後の採用状況により変更の可能性あり